

令和5年度

学生募集要項



聖マリア学院大学

St.Mary's College

大学院 看護学研究科（修士課程）

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

本学の教育理念、建学の精神、教育目標を実現することを意図して編成されたカリキュラムの内容について、修了までに以下にあげる到達目標に達するとともに、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、本学の行う修士論文の審査および最終試験に合格した学生に修士(看護学)の学位を授与する。

- 1)「カトリックの愛の精神」に基づく、生命の価値、人間の尊厳について考え、保健医療福祉における全人的ケアについて探求する姿勢を身につけることができる。
- 2)人間の生命と派生する諸問題に関心を持ち、人間の尊厳を尊重した社会のあり方、倫理の本質について研究の視点で捉え、知識を深め、実践することができる。
- 3)看護の知識と研究する態度に基づいた医療・保健・福祉現場での看護実践を追求することができる。
- 4)知識の探求力、他職種との協働力、現場環境への対応力を身につけ、現場の質向上に貢献できる高度実践看護師をめざすことができる。
- 5)ロイ看護モデルを含めた看護理論の開発・発展の過程を学び、看護実践への理論の活用について探求することができる。
- 6)看護理論を看護実践において活用し、理論の有益性を検討・検証できる力を身につけることができる。
- 7)看護の知識を実践・教育・研究のそれぞれにおいて、国際性・学際性をもって吟味し探求することができる。
- 8)高度専門職業人として、看護の実践、教育、研究の分野で国際的、学際的な探求を行い、看護学の知識基盤の検証と発展に寄与することができる。

アドミッション・ポリシー

【本大学院が求める学生像】

本学の教育理念に基づき看護学・看護実践に対する正しい基本姿勢をふまえて、看護の分野における高度かつ専門的な学術の理論および実践を研究し、高度実践看護の実践者、指導者、教育者、研究者、管理者等となるべき人材、また、国際的視野のもとに看護の教育・研究・実践を学際的に遂行できる優秀な人材の開発・育成を目標としています。入学者選抜においては、以下にあげるような学生を求めています。

- 1 豊かな人間性と、人間の尊厳を基盤に置く高い倫理観を求める者
- 2 本学看護学研究科の教育を受けるための基礎学力を有する者
- 3 看護学に対する強い興味と探究心を持ち、自立性および向学の志が高い者
- 4 修士課程を修了し、その研究成果の応用によって看護の分野における地域社会および国際社会の幸福と健康に寄与する意思を有する者

目 次

1. 募集人員	P 1
2. 募集研究領域及び特色	P 1
3. 出願資格	P 2
4. 出願資格認定審査	P 3
5. 出願希望者の事前相談	P 3
6. 出願期間	P 4
7. 出願書類	P 4
8. 入学検定料	P 5
9. 選抜方法	P 5
10. 試験場	P 5
11. 受験上の注意	P 5
12. 合格発表	P 6
13. 入学手続き	P 7
14. 学納金	P 7
15. 奨学金	P 7
16. 長期履修制度	P 8
17. 授業科目一覧	P 9
18. 専任教員研究テーマ	P 10～12

<添付書類等>

入学志願票（受験票・写真貼付票付）
経歴書
研究計画書
出願資格認定申請書
研究計画書（出願資格認定審査用）
連絡用シール
入学検定料払込用紙
出願書類送付用封筒

出願書類は、本学所定の封筒により、一括して郵送（簡易書留郵便）にて送付又は持参して下さい。

【受付方法】

- ・ 郵送の場合：出願締切日までに必着。
- ・ 持参の場合：受付時間 9:00～16:00（土曜・日曜・祝日を除く）

【送付先】 〒830-8558 福岡県久留米市津福本町 422
聖マリア学院大学 入試事務室 宛

（入試に関するお問い合わせ）

聖マリア学院大学 入試事務室（平日 9:00～17:00）
TEL：0942-35-7271（代表）

個人情報の取り扱いについて（必ずお読み下さい）

出願時に提出された個人情報に関しましては、入学選考・入学に関わる事務手続き及び入試動向分析以外の目的には使用いたしません。以上の取り扱いにつきまして異議のある方は入試事務室までお申し出下さい。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、募集要項に記載の選抜方法・日程と異なる方法・日程で実施する可能性があります。変更となった場合は、本学ホームページにて早急にお知らせします。

1. 募集人員

看護学研究科 看護学専攻	修業年限	入学定員	
	2年	一般	12名 (男・女)
		社会人特別選抜	

2. 募集研究領域及び特色

●健康・療養支援看護学領域

1. 修士論文コース

- ・ヘルスプロモーション看護学分野
- ・小児・子育て支援看護学分野
- ・クリティカルケア看護学分野
- ・療養支援慢性看護学分野
- ・老年看護学分野
- ・精神看護学分野

→上記6つの分野で、看護に必要な理論や概念を理解し、看護ケアの質改善を導くエビデンスについて、研究を通して探求する。

2. 慢性看護専門看護師コース (Certified Nurse Specialists)

→慢性疾患を病む人々への看護に必要な理論や概念、CNSの機能について理解し、患者（クライアント）の自己管理能力とQOLを高め、地域社会に貢献しうる高度な実践について修得する。

●MCH（周産期・母子）看護学領域

1. 修士論文コース

→各ライフステージにある女性および周産期にある母子と、その家族に対する理論や概念について理解し、実践と研究への適応を探求する。

2. 母性看護専門看護師コース (Certified Nurse Specialists)

→各ライフステージにある女性および周産期にある母子とその家族に対する理論や概念を理解し、高度実践看護師として地域に貢献するために必要な理論に基づく支援技術について修得する。

●統合看護学領域

1. 修士論文コース

- ・看護政策・管理・教育システム（国際比較）分野
- ・国際看護学分野

→上記2つの分野で、看護制度、国際看護について、研究を通して探求する。

●データヘルスサイエンス看護学領域

1. 修士論文コース

- ・データヘルスサイエンス看護学分野

→看護におけるデータヘルスサイエンスを探求する。

※各領域において、開講時刻等については科目担当教員と協議の上、調整することも可能です。

3. 出願資格

【一般入学試験】

下記のいずれかに該当する者で、原則として看護師免許を取得した者及び取得見込みの者。

- ①大学を卒業した者もしくは令和5年3月までに卒業見込みの者。
- ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者もしくは令和5年3月までに授与される見込みの者。
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者もしくは令和5年3月までに修了見込みの者。
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者もしくは令和5年3月までに修了見込みの者。
- ⑤我が国において、外国の大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校の課程を修了した者もしくは令和5年3月までに修了見込みの者（当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者に限る）。
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上で、文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）を修了した者もしくは令和5年3月までに修了見込みの者。
- ⑦文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号）。
- ⑧本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年4月1日現在、満22歳以上の者。

※上記⑦、⑧で出願しようとする者は、添付の「出願資格認定申請書」を含む提出書類を申請期間に本学に提出し、出願資格認定審査を受けて下さい。

【社会人特別選抜試験】

下記の①～⑧のいずれかに該当し、かつ⑨に該当する者で、原則として看護師免許を取得した者。

- ①大学を卒業した者もしくは令和5年3月までに卒業見込みの者。
- ②大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者もしくは令和5年3月までに授与される見込みの者。
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者もしくは令和5年3月までに修了見込みの者。
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者もしくは令和5年3月までに修了見込みの者。
- ⑤我が国において、外国の大学相当として文部科学大臣が指定した外国の学校の課程を修了した者もしくは令和5年3月までに修了見込みの者（当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者に限る）。
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上で、文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）を修了した者もしくは令和5年3月までに修了見込みの者。
- ⑦文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号）。
- ⑧本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和5年4月1日現在、満22歳以上の者。

※上記⑦、⑧で出願しようとする者は、添付の「出願資格認定申請書」を含む提出書類を申請期間に本学に提出し、出願資格認定審査を受けて下さい。

- ⑨看護師免許取得後、看護職として3年以上の職務経験を有する者。

4. 出願資格認定審査

出願資格⑦、⑧で出願を希望する者は、出願前に出願資格の認定審査を受けて下さい。

1. 申請期間 秋期：令和4年9月1日（木）～令和4年9月12日（月）必着
春期：令和5年1月5日（木）～令和5年1月16日（月）必着
2. 提出書類 ①出願資格認定申請書（本学大学院所定の用紙を使用すること）
②最終学歴校卒業（見込）証明書及び成績証明書
※最終学歴が看護課程の学校でない場合は、看護課程の学校の卒業証明書及び成績証明書も併せて提出すること。
※改姓等により証明書と氏名が異なる場合は、それを証明できる書類（戸籍抄本等）を提出して下さい。
③研究計画書（本学大学院所定の用紙を使用すること）
3. 申請方法 封筒に「出願資格認定申請書在中」と朱書きし、簡易書留にて本学入試事務室まで郵送して下さい。
4. 結果通知 申請者には下記の期日までに「出願資格認定の審査結果」を書面にて通知します。
当該期日までに結果の通知が届かない場合は、本学入試事務室までお問い合わせ下さい。
秋期：令和4年9月30日（金）
春期：令和5年1月26日（木）

※出願資格を認定された者は、次項5～8の出願期間及び手続きにより出願して下さい。

5. 出願希望者の事前相談

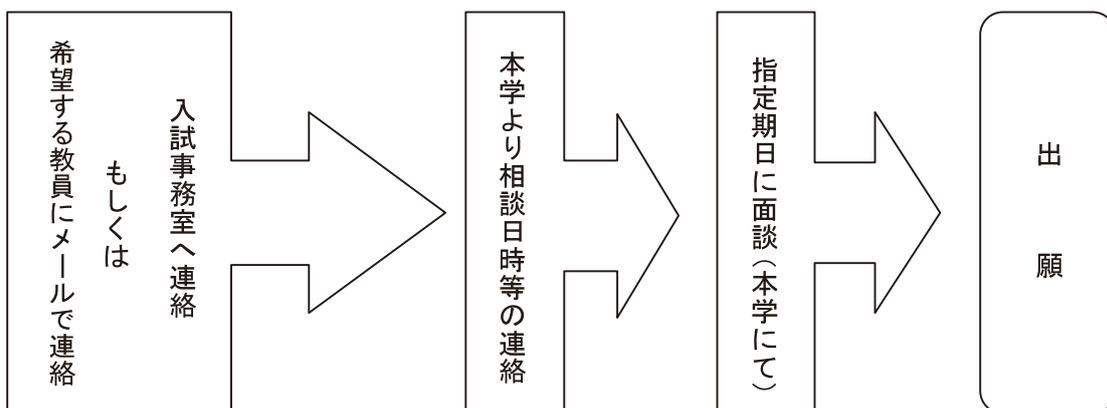
出願希望者は出願前に、各自の希望する分野の教員と電子メール等で連絡を取り、大学院における研究等について必ず相談を行って下さい。

健康・療養支援看護学領域およびMCH（周産期・母性）看護学領域で、「慢性看護専門看護師資格取得」、「母性看護専門看護師資格取得」を希望する方は、事前に領域担当者に必ず相談を行って下さい。

※教員の研究テーマおよび連絡先アドレスは10～12ページを参照して下さい。

※入試事務室へ連絡の際は電話（0942-35-7271[月曜～金曜 9:00～17:00]）、もしくは電子メール（nyushi@st-mary.ac.jp）にてお願いします。

〔事前相談から出願の流れ〕



6. 出願期間

秋期：令和4年10月3日（月）～ 令和4年10月13日（木） ※締切日必着

春期：令和5年2月1日（水）～ 令和5年2月13日（月） ※締切日必着

7. 出願書類

出願書類	摘要
① 入学志願票（受験票・写真票付）	とじ込みの用紙を使用すること。 必要事項を記入し、志願票と写真票にそれぞれ写真（縦4cm×横3cm）を貼り付け、裏面に⑨入学検定料の振替払込請求書兼受領証もしくはATM利用明細をのり付けすること。 受験票には切手（323円）を貼ること。
② 出身大学卒業（見込）証明書	出身大学長が作成、封印したもの（発行3カ月以内とする）。 ※卒業見込の者は卒業見込証明書を提出すること。
③ 出身大学成績証明書	出身大学長が作成、封印したもの（発行3カ月以内とする）。
④ その他証明書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出願資格の②により出願する者は次によること。 <ul style="list-style-type: none"> ア. 既に学位授与機構により学位を授与された者は、学位授与証明書並びに学位授与の対象となった専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書。 イ. 既に学位授与機構に認定修了を申請している者は、学位授与申請受理証明書並びに学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行った機関の単位修得証明書。 ウ. 10月に学位授与機構に認定修了を申請している者は、学位授与の対象となる専攻に係る授業科目の単位認定を行う機関の修了証明書及び成績証明書。 ・ 出願資格の③、④、⑤により出願する者は、当該教育機関の修了証明書及び成績証明書 ・ 出願資格の⑥、⑦、⑧、⑨により出願する者は、最終教育機関の卒業（見込）証明書並びに成績証明書。 * 大学以外の最終教育機関の卒業（見込）証明書並びに成績証明書も提出すること。
⑤ 在職証明書 ※社会人特別選抜志願者のみ	発行者が厳封し、3年以上の就業が確認できるもの。 * 任意様式（発行3ヶ月以内とする） * 1つの事業所で3年に満たない場合は、複数の事業所の証明書を提出し、3年以上の就業が証明できるようにすること。
⑥ 研究計画書	とじ込みの用紙を使用すること。 ※事前相談等で提出した場合でも改めて提出すること。
⑦ 経歴書	とじ込みの用紙を使用すること。 ※事前相談等で提出した場合でも改めて提出すること。
⑧ 連絡用シール	とじ込みの用紙に志願者の現住所、氏名を明記すること。
⑨ 入学検定料の振替払込請求書兼受領証 もしくはATM利用明細	とじ込みの払込用紙で、銀行（ゆうちょ銀行含む）又は郵便局より払込み、その振替払込請求書兼受領証もしくはATM利用明細を入学志願票の裏面にのり付けすること。 ※ATM利用の場合は、利用明細を貼付すること。 ※現金、郵便為替での納入は受け付けない。 ※振替払込受付証明書は検定料払い込みの証拠となりますのでお手元に保管下さい。

※長期履修制度を希望される方は、必要書類を出願書類に同封してください（8ページ参照）。

〔出願上の注意〕

1. 受理した出願書類及び一旦払い込まれた入学検定料は、返還致しませんのでご注意ください。
2. 出願書類が不備のものは受け付けられません。
3. 出願書類に虚偽の記入をした場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
4. 健康上の問題があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、出願前にお申出下さい。
5. 改姓等により証明書と氏名が異なる場合は、それを証明できる書類（戸籍抄本等）を提出して下さい。

8. 入学検定料 30,000円

※銀行（ゆうちょ銀行含む）又は郵便局から本学所定の払込用紙でお振込み下さい。

※ATMでお振込の場合は、ATMの利用明細票を入学志願票裏面の貼付欄に貼り付けて下さい。

※ゆうちょ銀行もしくは郵便局以外でのお振込みは振替払込受付証明書（お客さま用）が発行されないことがあります。その場合、お手元に控えが残りませんので、ご了承ください。

9. 選抜方法 ※一般、社会人特別選抜共通

選抜方法	学力試験(専門科目、英語)、面接、出願書類等の総合判定による。		
試験科目等	英語 ※英和辞書持込可(但し、電子辞書の持ち込みは認めない) 専門科目 ※志望する研究領域の科目を選択すること 面接 *配点:各科目100点、面接は段階別評価 ※社会人特別選抜は専門科目加重配点(英語50点、専門科目150点)		
試験時間割	試験期日	試験時間	試験科目等
	〔秋期〕 令和4年 10月22日(土)	9:35	受験生入室完了
		9:45～10:00	オリエンテーション
	〔春期〕 令和5年 2月18日(土)	10:00～11:30(90分)	英語
		13:00～14:30(90分)	専門科目
15:00～		面接 ※終了後は順次帰宅	

※研究計画書の写しを試験当日にご持参ください(面接において持ち込みます)。

10. 試験場 本学

※公共交通機関をご利用下さい(駐車場はありません)。

11. 受験上の注意

- オリエンテーション10分前(9時35分)までに着席し、監督者及び係員の指示に従って下さい。
- 試験開始後の遅刻者は、原則として試験教室への入室を許可しません。ただし、やむを得ない事情で遅れた場合には、直ちに係員に申し出て指示に従って下さい。
- 試験教室では受験番号と同じ机上番号の席につき、受験票を机上に置いて下さい。
- 受験票を忘れた場合には係員に申し出て指示に従って下さい。
- 受験票のほかに試験時間中に机の上に置けるものは、次のとおりです。これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて試験終了まで預かることがあります。その場合、試験時間の延長は認めません。なお、筆記用具・時計等の貸し出しは致しません。

黒鉛筆もしくはシャープペンシル(HBまたはB)、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り、時計(辞書、電卓、端末機能のあるものやそれらの機能が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは不可)、ハンカチ、ティッシュペーパー(袋または箱から中身だけ取り出したもの)、目薬、英和辞書(英語の時間のみ)
 ※座布団・ひざ掛け(ともに無地のもの)は使用できますが、監督者に申し出て許可を得てから使用して下さい。
- 試験時間中に次のものを使用してはいけません。これらを使用すると不正行為となります。

定規、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具
 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末(腕時計型端末等)、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類およびイヤホン

 ※電子機器類については、入室時にアラームを解除の上電源を切り、かばん等にしまってください。試験時間中に身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。

7. 英文字や地図等がプリントされてある服等は着用しないでください。着用している場合には脱いでもらうことがあります。
8. 他の受験生の迷惑になる行為等は行わないでください。注意等の指示に従わない場合は退出させることがあります。
9. 試験時間中の退出は認めません。
10. 試験問題用紙及び解答用紙等、試験時間の配布物の持ち帰りはできません。
11. 学生食堂の営業はありませんので、昼食は持参して、自席で取って下さい。
12. 試験当日は本学構内への車輛の乗り入れ及び試験場以外の施設への立ち入りを禁止します。

〔その他の注意事項〕

- ・感染症拡大防止のため、付き添いの方の控室はありません（学内でお待ちいただくことはできません）。介助が必要な場合等、特別な事情がある場合は、事前に入試事務室までご相談下さい。
- ・試験時間中に日常生活騒音等（監督者の巡視のため足音・業務上必要な打合せ等、航空機・自動車・空調等の音、周囲の受験生のくしゃみ・咳等、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、照明の点滅）が発生した場合でも救済措置は行いません。

〔不正行為について〕

- ① 次のことをすると不正行為となります。指示等に従わず不正行為と認定された場合、その場で受験の中止と退出を命じられ、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての教科・科目等の成績は無効となります。

- ア. 志願票、受験票、解答用紙に故意に虚偽の記入（解答用紙に本人以外の名前・受験番号を記入するなど）をすること。
- イ. カンニング（カンニングペーパー、参考書、ほかの受験者の解答を見ること、ほかの人から答えを教わることなど）をすること。
- ウ.ほかの受験者に答えを教えたり、カンニングの手助けをすること。
- エ. 試験時間中に問題用紙や解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- オ. 回答開始の合図や指示の前に、問題用紙開いたり、解答を始めること。
- カ. 試験時間中に携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等のウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- キ. 試験時間中に、定規、コンパス、電卓等の補助具を使用すること。
- ク. 解答終了の合図や指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり、解答を続けること。

- ② 前記①以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、前記①と同様です。

- ア. 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等のウェアラブル端末等の電子機器類およびイヤホンや定規、コンパス、電卓等の補助具、参考書等をかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていること。
- イ. 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信、アラーム、振動音等）を長時間鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
- ウ. 試験に関することについて、自身やほかの受験者を利するような虚偽の申し出をすること。
- エ. 試験場において他の受験者の迷惑になる行為をすること。
- オ. 試験場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- カ. その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をすること。

12. 合格発表

日 時		発 表 方 法
秋 期	令和4年 11月1日（火） 10:00	合格者の受験番号を学内に掲示するとともに、合格者のみ合格通知書により通知する。不合格者に対しては通知しない。 本学ホームページ上に合格者の受験番号を掲載する。 ※ホームページでの発表は、あくまで補助的なものですので、合格通知もしくは学内掲示にてご確認下さい。
春 期	令和5年 3月1日（水） 10:00	

※可否に関する電話等による照会には応じられません。

13. 入学手続き

手続期間		手続事項	手続方法
秋 期	令和4年 11月 1日(火) ～ 令和4年 11月 15日(火)	1) 誓約書及び保証書の提出 (本学所定の様式) 2) 入学金の納入	1) 誓約書及び保証書の提出 〔郵送の場合〕手続締切日までに必着 〔持参の場合〕受付時間 9:00～16:00 (土・日・祝日を除く) 2) 入学金 250,000 円の納入は、銀行振込みに限る(締切日の 15:00 まで)
	令和5年 3月 1日(水) ～ 令和5年 3月 14日(火)		

- ※本学出身者は入学金が免除になります。入学関係書類の提出をもって第1次手続き完了とします。
- ※入学手続き書類の提出は締切日必着です。それ以降の受付は致しませんのでご注意下さい。
- ※合格通知を受けた者で、手続期間中に所定の手続きを完了しなかった場合は、入学意思がないものとして入学資格を取り消すことがあります。
- ※一旦納入された入学金は、事由の如何に関わらず返還できません。

14. 学納金(令和5年度)

区分	入学時納入金*	後期納入金	次年度以降納入予定額(年額)
入 学 金	250,000 円	—	—
授 業 料	425,000 円	425,000 円	850,000 円
施 設 設 備 費	100,000 円	100,000 円	200,000 円
合 計	775,000 円	525,000 円	1,050,000 円

- * 入学金のお振込みは各選抜試験の入学手続締切日、授業料及び施設設備費のお振込みは令和5年3月23日(木)までとなります。
- ※本学出身者は入学金が免除となります。
- ※前期納入金振込締切日までに授業料及び施設設備費(前期分)の納入がない場合には、入学の意思がないものとして入学資格を取り消すことがあります。
- ※一旦納入された学納金は、令和5年3月31日(金)17:00までに入学の辞退を申し出た者に限り、返還を請求することができます。(ただし、入学金は返還の対象とはなりません。)
- ※講義等を遠隔授業(オンライン授業)で実施することもありますので、通信環境や対応機器などの整備が必要となる場合があります。

15. 奨学金

[学外団体奨学金]

名 称	種別	対象者	金額
雪の聖母会 聖マリア病院 聖マリア奨学金	貸与	経済的理由により就学困難な方に対し、選考により奨学金を貸与(無利息)。 採用人数若干名。 ※家計状況が一定の審査基準を満たすこと。 ※半年ごとに継続の有無を確認し、審査を経て採否を決定。 ※原則として、他の奨学金制度との併用はできない。	授業料相当額が上限

※入学後に応募説明会開催。

16. 長期履修制度

職業を有している等の事情により、標準修業年限では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象として、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間（原則3年）に渡り計画的に教育課程を履修し、学位を取得することができる制度です。本制度の利用を希望する場合は、申請資格を確認の上、下記の通り申請を行ってください。審査の上、計画的な履修を認めることがあります。また、必ず教員との事前面談時に長期履修について相談して下さい。

長期履修制度を利用した場合の授業料等の支払額は以下の通りです。

	標準課程		長期履修課程		
	1年目	2年目	1年目	2年目	3年目
授業料(年額)	850,000円	850,000円	560,000円	570,000円	570,000円
施設設備費(年額)	200,000円	200,000円	140,000円	130,000円	130,000円
合計	1,050,000円	1,050,000円	700,000円	700,000円	700,000円

※授業料及び施設設備費は前期、後期の2回に分けて納付していただきます。

※在学中に授業料の改定が行われた場合は再計算されます。

※4年の長期履修をご希望される方は、別途ご相談下さい。

【長期履修制度申請資格】

長期履修制度を申請できる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 職業を有する者（正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者）
- (2) 育児、介護等により、標準修業年限で修了することが困難である者
- (3) その他やむをえない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難であると研究科長が認めた者

【申請方法】

長期履修制度を希望する者は、下記①～③の書類を出願書類に同封して下さい。

- ① 長期履修許可願（とじこみの用紙を使用すること）
- ② 長期履修理由書（とじこみの用紙を使用すること）
- ③ 次に定めるその他必要な書類

区 分	必 要 書 類
職業を有する者（正規職員以外も含み、主としてその収入で生計を立てている者）	在職証明書又はそれに代わるもの
育児、長期介護等により、標準修業年限で修了することが困難な者	本人の申立書及びそれを証明する書類
その他やむをえない事情を有し、標準修業年限で修了することが困難であると研究科長が認めた者	本人の申立書及びそれを証明する書類

【結果通知】

審査の結果については、合格通知に同封します。

【注意事項】

- 長期履修期間は原則3年とします。
- 長期履修の場合は、3年目以降、半期毎に3万円が在籍手数料として別途必要となります。
- 履修期間は短縮または延長ができます。但し、最長履修期間は4年となります。
- 入学後に履修期間の延長・短縮を申請する場合は、指定された制限があります。指定期間以外に延長を申し出た場合、長期履修の延長とは認められず、通常の授業料が必要となります。
- 入学後に履修期間の延長・短縮を行った場合の年間支払額については、別途該当者にお知らせします。
- 履修期間の延長・短縮を希望される場合の詳細については、入学後に希望者に説明します。

17. 授業科目一覧

区分	授業科目	単位数			区分	授業科目	単位数			
		必修	選択	自由			必修	選択	自由	
基盤教育科目	生命倫理	2			専門教育科目	ウィメンズヘルス看護学特論		2		
	看護倫理		2			MCH 看護学領域・母子	MCH(周産期・母子)看護学特論Ⅰ		2	
	看護理論	2					MCH(周産期・母子)看護学特論Ⅱ		2	
	看護教育論		2				MCH(周産期・母子)看護学特論Ⅲ		2	
	看護管理論		2				PIC(周産期集中ケア)特論Ⅰ		2	
	看護政策論		2				PIC(周産期集中ケア)特論Ⅱ		2	
	看護研究	2					PIC(周産期集中ケア)特論Ⅲ		2	
	コンサルテーション論		2				MCH(周産期・母子)看護学特論実習Ⅰ		2	
	データヘルスサイエンス概論		2				MCH(周産期・母子)看護学特論実習Ⅱ		5	
	疫学特論		2				MCH(周産期・母子)看護学特論実習Ⅲ		3	
	臨床統計特論		2				統合看護学領域	看護政策・管理学特論(国際比較)		2
	保健医療福祉政策論		2			看護教育学特論(国際比較)			2	
	生体感染防御論		2			リーダーシップとデリゲーション			2	
	ライフスパンフィジカルアセスメント		2			看護政策・管理学演習(国際比較)			2	
	臨床病態生理学		2			国際看護学特論			2	
	臨床薬理学		2			国際看護学方法論			2	
	異文化理解と国際医療協力論		2			国際看護学演習			2	
	研究論文(英文)クリティカル・ライティング		2			国際看護学フィールドスタディ			4	
	APN(Advanced Practice Nursing)特論		2			データヘルスサイエンス看護学領域		データヘルスサイエンス看護学特論Ⅰ		2
				データヘルスサイエンス看護学特論Ⅱ				2		
				データヘルスサイエンス看護学方法論Ⅰ			2			
				データヘルスサイエンス看護学方法論Ⅱ			2			
健康・療養支援看護学領域					指 導 研 究	課題研究		2		
						特別研究		8		
					科 関 連	APN(Advanced Practice Nursing)研究A			2	
						APN(Advanced Practice Nursing)研究B			2	
		ヘルスプロモーション看護学特論		2						
		ヘルスプロモーション看護学演習(地域包括ケアシステム)		2						
		小児・子育て支援看護学特論		2						
		小児・子育て支援看護学演習		2						
		クリティカルケア看護学特論		2						
		クリティカルケア看護学援助特論		2						
		クリティカルケア看護学演習		2						
		療養支援慢性看護学特論		2						
		療養支援慢性看護学援助特論		2						
		療養支援慢性看護学演習ⅠA		2						
		療養支援慢性看護学演習ⅠB		2						
		療養支援慢性看護学演習ⅡA		2						
		療養支援慢性看護学演習ⅡB		2						
		療養支援慢性看護学実習Ⅰ		3						
		療養支援慢性看護学実習Ⅱ		4						
	療養支援慢性看護学実習Ⅲ		3							
	老年看護学特論		2							
	老年看護学演習		2							
	精神看護学特論		2							
	精神看護学演習		2							
	リハビリテーション看護学特論		2							
	健康・療養支援看護学演習		2							

18. 専任教員研究テーマ

[専門看護師（CNS）コース 課題研究指導教員一覧]

「慢性看護専門看護師コース」または「母性看護専門看護師コース」を希望の場合は課題研究の選択となります。

	研究テーマ	指導教員
健康・療養支援看護学領域	以下の課題を主体とした研究指導を行う。 1. 脳卒中や頭部外傷の後遺症である高次脳機能障害がセルフケアに及ぼす影響 2. 脳卒中患者の再発予防に向けた患者教育 3. 脳卒中患者の便秘に対するエコーを用いた評価と看護介入 4. 慢性疾患患者の看護における Roy Adaptation Model の適用	日高艶子 教授 (領域担当者) [メールアドレス] hidaka@st-mary.ac.jp
	慢性の病とともに生きる人々のセルフケア行動と QOL を促進する要因ならびに看護支援技術など療養生活を支援する課題研究について支援を行う。	崎田マユミ 教授 [メールアドレス] sakita@st-mary.ac.jp
MCH (周産期・母子) 看護学領域	周産期あるいはライフサイクル各期における女性と家族のセルフケアに関する看護、意思決定を支える看護について、看護師の責務と役割・機能に関する課題研究の過程を支援する。	桃井雅子 教授 (領域担当者) [メールアドレス] momoi@st-mary.ac.jp

[修士論文コース 特別研究指導教員一覧]

研究テーマ	指導教員
難病 QOL、精神障害者の社会参加促進、災害保健等健康危機管理に関する研究、地域包括ケアの推進と専門職（保健師、地域連携看護職等）の質向上、高齢化が進む地域のセルフケアとソーシャルキャピタル（自助・互助）推進を目指した地域づくりプログラム開発と評価に関する研究を行っている。地域や組織の課題解決に向けた研究、そのための新たな施策化、仕組みづくり等エビデンスに基づく実践の開発・評価について、研究指導を行う。	眞崎直子 教授 [メールアドレス] masaki@st-mary.ac.jp
医療投下資源の効果を研究課題として、その臨床効果と費用対効果に関する研究指導を行う。	井手三郎 教授 [メールアドレス] side@st-mary.ac.jp
周産期ならびにライフサイクル各期における女性と家族のセルフケアに関する看護、意思決定を支える看護について、研究テーマの明確化、研究計画書の作成と研究の実施、論文作成までの一連の過程を支援する。	桃井雅子 教授 [メールアドレス] momoi@st-mary.ac.jp
1. 脳卒中や頭部外傷の後遺症である高次脳機能障害がセルフケアに及ぼす影響を明らかにしセルフケアの再構築を促す看護介入に関する研究課題について、研究指導を行う。 2. Roy Adaptation Model の臨床への適用と効果に関する研究課題について、研究指導を行う。	日高艶子 教授 [メールアドレス] hidaka@st-mary.ac.jp
認知症予防をはじめ健康寿命延伸に向けた支援やそのエビデンスを探究する研究、最期までその人らしく生きるための最善の医療・ケアについて倫理的観点や尊厳への配慮も含めて探究する研究、および、高齢者やその家族も含めた QOL の維持・向上に向けて探究する研究等について指導を行う。	中村和代 教授 [メールアドレス] k-nakamura@st-mary.ac.jp
ヘルスプロモーションの視点から、地域住民の意識や行動調査、健診データなどの数量データ分析法を用いた研究指導を行う。また、地域包括ケアにおける看護の役割をとらえ、予防支援、在宅終末期看護、高齢者権利擁護、訪問看護などのキーワードで研究指導を行う。その方法論としては、バイオ統計学を基盤とし、量的研究における研究デザイン、データ解析手法について教授する。	堤千代 教授 [メールアドレス] tsutsumi@st-mary.ac.jp
慢性の病とともに生きる人々のセルフケア行動と QOL を促進する要因ならびに看護支援に関する研究、ストレスと対処に関する研究、健康で安全に働き続けられるための働き方と職場環境に関する特別研究について支援を行う。	崎田マユミ 教授 [メールアドレス] sakita@st-mary.ac.jp
クリティカルケア看護における回復を促し地域での生活へつなげるための看護実践の可能性、クリティカルな状況にある患者・家族を支える看護職者への支援に関する課題について研究指導を行う。	鶴田明美 教授 [メールアドレス] tsuruta@st-mary.ac.jp
以下の課題を主体とした研究指導を行う 1. 在宅看護分野における高度な看護実践能力を育成するための教育プログラムの構築 2. 医療依存度の高い在宅療養者に対する看護実践と QOL の関連 3. 看護専門職業人育成の為の継続教育システム等に関する課題	橋口ちどり 教授 [メールアドレス] hashiguchi@st-mary.ac.jp

研究テーマ	指導教員
<p>在留外国人がもつ健康問題や保健医療サービス利用にかかわる問題点などを、参加観察、面接調査などによる研究方法を用いた研究について研究指導を行う。また、学生に国際協力の経験がある場合には、そのフィールドを活用し、調査研究を行えるように指導する。</p>	<p>秦野環 准教授 [メールアドレス] hatano@st-mary.ac.jp</p>
<p>精神疾患の背景・診断・治療を含む心の病気の捉え方、心の健康を保つための新しい研究や考え方を広く探究し、実践に還元できる研究課題について研究指導を行う。</p>	<p>谷多江子 准教授 [メールアドレス] tani@st-mary.ac.jp</p>
<p>妊産褥期および胎児と赤ちゃんの適応生理、適応生理を促進する支援に関する研究課題について研究指導を行う。</p>	<p>浅野美智留 准教授 [メールアドレス] asano@st-mary.ac.jp</p>
<p>医療を取り巻く社会が激変する時代において、看護管理者が看護の質向上に果たす役割は大きい課題も多く抱えている。そうした看護管理者の課題について、WLB やダイバーシティ・マネジメントなど看護師個人と組織がともに win-win となることができる組織づくりを探求し、管理実践に還元できる研究指導を行う。</p>	<p>近末清美 准教授 [メールアドレス] chikasue@st-mary.ac.jp</p>
<p>高度な看護実践に取り組む熟練看護師の暗黙知に関する研究課題について、研究指導を行う。</p>	<p>小浜さつき 准教授 [メールアドレス] obama@st-mary.ac.jp</p>
<p>妊娠・分娩・産褥期の母児および家族への健康支援・健康教育に関する課題について、研究指導を行う。</p>	<p>野口ゆかり 准教授 [メールアドレス] y-noguchi@st-mary.ac.jp</p>
<p>周産期における正常およびハイリスク妊産褥婦とその家族の支援に関する研究、医療的ケアを必要とする乳幼児の家族の意思決定に関する研究指導を行う。</p>	<p>柳本朋子 准教授 [メールアドレス] yanagimoto@st-mary.ac.jp</p>
<p>VPD (Vaccine Preventable Disease)におけるワクチンの効果と、それに関連する要因について、研究指導を行う。</p>	<p>井手悠一郎 准教授 [メールアドレス] y-ide@st-mary.ac.jp</p>

記入例

聖マリア学院大学大学院 看護学研究科 入学志願票 (令和5年度)

日 程 (○を付してください)		秋期	<input checked="" type="radio"/>	春期	<input type="radio"/>		
受験記号	※	受験番号	※	試験区分 (○を付してください)			
志望領域・コース	健康・療養支援看護学 領域	修士論文	コース	<input checked="" type="radio"/> 一般	社会人		
志望分野	療養支援慢性看護学 分野	事前相談 教員名	筑後 太郎		〔写 真〕 出願前3ヶ月以内に 撮影したもの タテ4cm×ヨコ3cm 上半身脱帽 無背景 正面向き カラー可		
ふりがな	ふくおか まりあ		性別	男・ <input checked="" type="radio"/> 女			
氏 名	福岡 真理亜						
生年月日	昭和・ <input checked="" type="radio"/> 平成 12年 4月 2日生 (満22歳)						
住 所	〒830-0000 福岡県久留米市津福本町422番地						
電 話 番 号	自 宅:(0942)-(00)-(0000) 携帯電話:(090)-(0000)-(0000) 所有者(本人)						
出身高等学校	昭和 平成 <input checked="" type="radio"/> 令和	元年 3月	聖マリア	高等学校卒業			
最終学歴校	昭和 平成 <input checked="" type="radio"/> 令和	5年 3月	聖マリア学院	大 学 短期大学 (看護学部 看護学科) 専修学校	卒 業 <input checked="" type="radio"/> 卒業見込		
学位・資格等	大 学	学士 (看護学)	昭和 平成 <input checked="" type="radio"/> 令和	5年 3月	取 得 <input checked="" type="radio"/> 取得見込		
	大学評価・ 学位授与機構	学士 ()	昭和 平成 令和	年 月	取 得 取得見込		
国 家 資 格	免許 種類	看護師	昭和 平成 <input checked="" type="radio"/> 令和	5年 4月	取 得 <input checked="" type="radio"/> 取得見込	免許 番号	XXXXXXXXXX
	免許 種類		昭和 平成 令和	年 月	取 得 取得見込	免許 番号	
	免許 種類		昭和 平成 令和	年 月	取 得 取得見込	免許 番号	
そ の 他	外国の学校教育を修了(見込) ・ 文部科学大臣の指定 ・ その他						

写真を貼付して下さい

〈注意事項〉 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 住所は4月末日まで確実に通知を受けられる場所であること。変更があった場合は、直ちに届け出ること。
 3. 入学志願票等の文字は黒インク又は黒ボールペンを用いて楷書で明確に記入すること。

聖マリア学院大学大学院 看護学研究科

受験票 (令和5年度)

日程 (入試区分に○印)	秋期	春期
入試区分 (入試区分に○印)	一般	社会人
受験記号	※	受験番号
ふりがな	ふくおか まりあ	
氏名	福岡 真理亜	
<p>注 意 事 項</p> <p>1. 解答用紙への記入は、すべて鉛筆(HB又はB、シャープペンシルも可)を使用すること。</p> <p>2. オリエンテーション開始10分前までに着席すること。</p> <p>3. 受験票・筆記用具等(鉛筆・消しゴム・時計及び鉛筆削り)以外のものを机の上に置かないこと。</p> <p>4. 試験時間中の中途退出は認めない。</p> <p>5. 本票の発送をもって、入学検定料の領収とする。</p> <p>〒830-8558 久留米市津福本町422 電話 0942(35)7271 聖マリア学院大学 入試事務室</p>		

令和5年度 写真票

日程 (○を付してください)	秋期	春期
入試区分 (○を付けてください)	一般	社会人
受験番号	※	
ふりがな	ふくおか まりあ	
氏名	福岡 真理亜	
性別	男・女	
出身学校		
聖マリア学院		大学 短期大学 専修学校

写真を貼付して下さい

写真貼付欄
(タテ4cm、ヨコ3cm)

1. 正面・脱帽の顔写真。
2. 3カ月以内に撮影したもの。
3. 写真裏に氏名を記入のこと。
4. 全面のりづけのこと。

試験会場略図・聖マリア学院大学

(試験場までの交通機関)

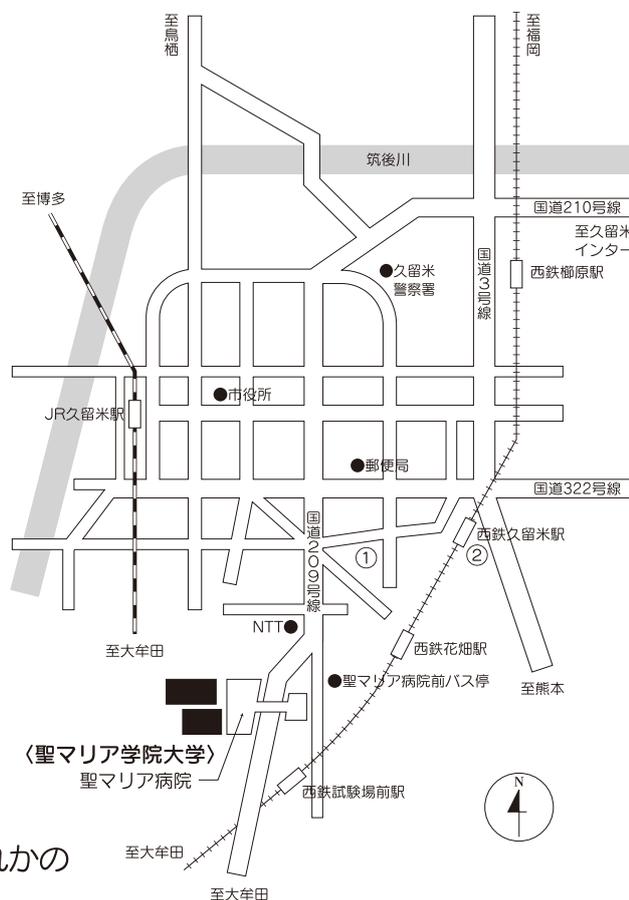
- JR久留米駅よりタクシー10分、
西鉄バス50・53番系統にて
聖マリア病院前下車(15分)徒歩3分
- 西鉄久留米駅よりタクシー5分、
西鉄バス50・53番系統にて
聖マリア病院前下車(7分)徒歩3分
- 西鉄試験場前駅下車徒歩7分

(受験の際の宿泊について)

宿泊を希望される方は、下記のいずれかの
ホテルへ直接お申し込み下さい。

なお、受験生に対する宿泊料金の割引制度等がありますので、お申し込みの際に
「聖マリア学院大学の受験生である」旨をお伝え下さい。

(宿泊料金等については申込時に確認して下さい。)



番号	ホテル名	本学までの案内	電話
①	ホテルニュープラザ久留米	徒歩15分	0942-33-0010
②	ハイネスホテル久留米	徒歩20分	0942-32-7211

聖マリア学院大学・聖マリア病院構内図



〒830-8558 福岡県久留米市津福本町422
 TEL 0942-35-7271 (代表)
 FAX 0942-34-9125
<https://www.st-mary.ac.jp>
 E-mail:nyushi@st-mary.ac.jp

聖マリア学院大学 入試事務室